

GP 台北 2014 参加記



2014/7/25（金）-28（月）

花博公園

目次

この本について	2	アーティストのサインを頼む	17
GP 台北 2014 について	2	GP 本戦開始	18
GP 台北 2014 に参加を決める	3	Round1 NO SHOW	19
GP とは別に 3 月にも台北に遊びに行きました	3	Round3 早くも土がつく	20
GP 台北へのチケットと宿を確保	4	Round4 アラジンさんを踏み台にする	21
GP 台北の会場が変更	4	Round5 早くも 2 敗 もう後がない	22
Wifi などの事前準備	5	Round8 もしかして初日通過？	23
台北のレシート宝くじ	5	Round9 GP 初日を通過	25
「制服至上：台湾女子高生制服選」展の検討	6	士林夜市で打ち上げ	25
		GP 初日終了	26
7 月 25 日（金）			
出発の朝	6	7 月 27 日（日）	
3 時間余のフライト	7	GP 本戦 2 日目	27
空港で SIM カード購入にチャレンジ	8	会場へ移動	28
チェックインと、会場入り	9	会場入場	29
直前 GPT シールドに参加	10	1 回目のドラフト	30
会場の無料 Wifi ネット	11	2 回目のドラフト	33
士林夜市で夕食	12	台湾大学の同人誌即売会土産	36
足裏マッサージを受けて寝る	13	光華商場へ	37
		光華商場へ入る	38
		本物の光華商場を見せてやる	40
7 月 26 日（土）		帰り道で迷う	41
GP 本戦 1 日目	14	マッサージを受けて寝る	42
会場到着とトイレ事情	15		
本戦開始前	16		

7月28日（月）		ホテルに戻る	47
帰国日	43	桃園空港行き的高速バスに乗る	48
荷造り	43	桃園空港で昼食	48
台北駅地下街へ	44	荷物を預けて出国手続き	49
薬屋で買い物	45	免税店で買い物	50
地下街ミストで涼む	45	搭乗	51
郵便局で宝くじを換金	46	帰国	52

この本について

本書は2014年7月25日（金）～27（日）にかけ台北花博公園で開催されたマジック・ザ・ギャザリングの台北大会（GP台北）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

なお、現地の金額表記は原則として通貨の元(台湾ドル)で行いました。

およそ1元=3.4円（2014年7月）で、感覚的には300元=千円という感じ。

GP台北2014について

本書を手取るような方であればおよそ説明の必要はないとは思われますが、GP（Grand Prix;グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-2000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に3回ほど開催されます（2015年から日本では年に4回開催されることになりました）。GP台北2014は、台北で2014年に開催された大会ということになります。

<http://www.wizards.com/Magic/Magazine/Article.aspx?x=grandprix/welcome#1>

GP 台北 2014 に参加を決める

基本的に筆者は、近場（※1）の海外のリミテッド（※2）GPにはお金や有休に余裕があれば参加することをデフォの行動にすることになっているのですが、GP 台北については2013年の夏に翌年のスケジュールが発表された時点で参加することは基本確定しており、2014年に入ってから、ウィザーズのGPサイト（※3）で主催はいつものPlay! Events（※4）であることを確認しつつ、もういつ予約をするかという段階になっていました。基本的になるべく早く予約するのが旅費やらホテル代を安くあげるコツなのですが、それでも半年以上前だと、そもそも売り出し自体を開始していないこともあったり。

※1 飛行機でせいぜい半日くらいの旅費の高くない所。海外は中国や赤道のあたりまで。豪州や米国や欧州は圏外。ただしラスベガスは別腹（笑）。

※2 筆者は「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。ただ国内GPは採用されればジャッジで参加することを優先しています。

※3 <http://archive.wizards.com/magic/tcg/events.aspx?x=mtg/event/grandprix/taipei14>

※4 <https://www.facebook.com/PlayEventsLLP>

GP とは別に 3 月にも台北に遊びに行きました

そんなわけで年明けからはGP 台北のことを考えながら過ごしていたのですが、そんな中、3月29日（土）に台北で「和同會」という主催（※1）が、「艦これ」のオンリー同人誌即売会「福爾摩沙鎮守府-艦これ ONLY」を開くという情報が入ってきました。

これは面白い…と思いつつ、ふとバニラエアのサイトを調べると、32180円で3月28日（金）昼に日本を出て、3月30日（日）夕方に戻る往復の航空券が買えることを発見。そして会場近くの安ホテル「メイスティ」は2泊2800元。こりゃいいんじゃないか…ということで反射的にぼちってしまいました。

まあ本当に、台湾に飛んで艦これ即売会に遊びに行って帰ってくるだけのプチ週末旅行だったのですが、これはこれで楽しかったです。本書ではこの位にしておきますが。

※1 <http://blog.livedoor.jp/jpgathering/archives/8191669.html>

GP 台北へのチケットと宿を確保

7月のGP 台北に行くことはとうに決定していたものの、チケットは3月末の艦これ台湾旅行を終えてから買おうか…とか漠然と思っていたのですが、実際には3月9日に7月のチケットと宿を押さえています（記述が前後していますが）。

これはこの日アラジンさんが「**消費税が8%に上がる前に** GP 台湾の日程に合わせでツアーを申しこんだ」と報告してきたので「それもそうだ」と思ってその夜のうちに自分もエキスペディアでチケットと宿を申し込んだものです。

エキスペディアで調べた限りでは、アラジンさんが申し込んだツアーの便は値段も時間も手頃（金曜昼過ぎに台北着、月曜昼過ぎに台北発）だったので、自分もそれに申し込み。宿については2012年にも利用した城美大飯店が売り出しを開始していたので即購入。ともあれ、これでGP 台北の参加が確定的に決定しました。

GP 台北の会場が変更

GP 台北 2014 の会場は当初はGP 台北 2012 と同じ国際會議中心（Taipei Innovation City Convention Center）と発表されていたのですが、5月になって花博公園（※1）に変更されました。理由は不明です。

正直、国際會議中心は市の中心の台北駅から南にMRTで8駅も南下する必要があるうえ付近にはそれほど観光スポットがあるようにも見えなかったもので、この変更は大歓迎。

なにしろ花博公園はずっと市の中心部ですし、何よりも士林夜市のすぐ近くです。

GP 台北をますます楽しみにしつつ計画を詰めていくことになります。

また4月28日にGP 台北のジャッジが発表され、**日本人ジャッジが6名**もいる

（※2）ことが明らかになりました。これは日本人プレイヤーの参加ハードルも滅茶苦茶低いね！ということで皆をどしどし誘いはじめました。

※1 <http://www.taipei-expopark.tw/english/index.aspx>

※2 梅様・金澤さん・いとりなさん・サモアさん・坂井さん・瀬野さん

Wifi などの事前準備

4度目の訪台になる今回は、なるべく荷物を減らすことをテーマに、それほど大掛かりな支度をしないで臨みました。まあ観光ガイドの最新版くらいは買いましたが。

あとは現地のネット環境確保です。自分は以前 Global Wifi のモデムレンタルサービスを愛用して友人にも勧めていたのですが、1月のクアラルンプールで「肝心のGP会場内でWifiがつかない」という事態に陥ってから（街中では接続できたので返金請求とかは無理）、ちょっと数千円払ってこれを利用するのを躊躇するようになりました。

台北では無料 Wifi の TPE-Free という公共サービスがあり（※1）、実際に3月にコレを試験的に利用した限りでは「地下鉄駅の構内は使えるけど…」な感じで結局 Twitter 等は夜にホテルの無料 Wifi でまとめて読み書きしたので、できればホテルの外でも安定した常時 Wifi 通信の回線を確認したいところ。

このため今回は、以前契約していた日本通信の Wifi モデムが手元に残っていたことから空港で「3日間使い放題 SIM」を購入して挿して使う（※2）、ということにチャレンジすることにしました。

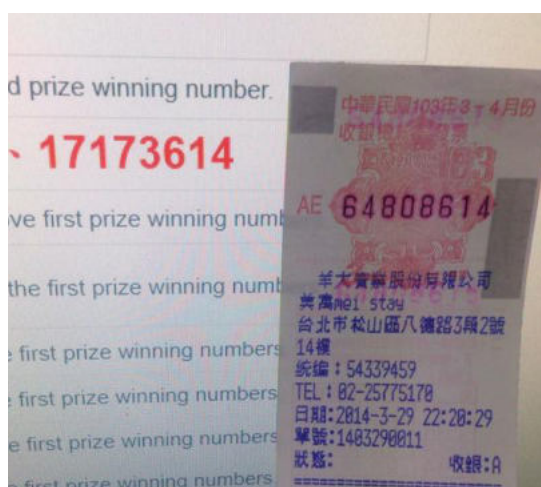
※1 https://www.wifly.com.tw/tpe/JP-TPE-Guide_Foreigner.html

※2 <http://shimajiro-mobiler.net/2013/10/20/post20334/>

台北のレシート宝くじ

台湾の面白い制度として「コンビニ等で貰えるレシートが公営宝くじ」になっている、というものがあります。まあ地元の商業振興策ということなのでしょう。

このため出発の前日に、3月に台北に行った時に持ち帰ったレシートを駄目もとで台北の宝くじサイト（※1）の Uniform-Invoice Prize



Winning Number のページでチェックしてみると、あ…一等賞と下 3 桁が一致してらあ。6 等 200 元だ。これは今回の旅のミッションに「宝くじの換金にチャレンジ」というのが加わった模様。どうやらこれは「郵便局」で換金してくれるらしい。ふむふむ。

※1 <http://www.etax.nat.gov.tw/etwmain/>

「制服至上：台湾女子高校生制服選」展の検討

すでに一日早く木曜から台北入りしていた GEN さんが、台北女子高生制服図鑑である「制服至上」の展覧会をやっているという耳よりな情報をくれる。

これはもしかしたら月曜の午前中にでも行ってみるのもアリではないかと思ってさっそくネットで詳細を調べつつ（※1）、さらに会場の「府中 15」のサイト（※2）も調べる。位置的には行けない距離ではないが、しかし残念ながら「月曜休館」であるようだ。断念。

※1 <http://japanese.rti.org.tw/m/whatsOn/?recordId=4593>

※2 <http://web.fuzhong15.ntpc.gov.tw/films/index.aspx>

7 月 25 日（金）出発の朝



5 時半に目が醒める。遠足の朝には勝手に目が醒める小学生。のんびり仕度をして 6 時 40 分に家を出る。トランクをカラコロ引きつつ駅前まで移動。雲ひとつない晴れ。そして暑い。7 時過ぎに新小岩駅に到着。松屋めしを済ませて朝の薬を飲む。

7 時 23 分に何事もなくエアポート成田に乗車。ここから 85 分の旅。車中は俺屍 2 をプレイ。8 時 53 分に成田空港へと到着したが、誤って第 2 ターミナル駅で降りてしまう事案が発生。あれれれー？慌てて無料シャトルバスに乗って、第 1 ターミナルへ移動。もう 1 本後の 1 時間後のエアポート成田にしなくて良かった

た。

9:10分に第1ターミナルに到着して、9時20分にチケット発券とセキュリティを瞬時に通過する。窓口でトランクを機内持ち込みにしようとしたら「エコノミーは満席です」と断られる。むむむ。向こうで荷物引取りの時間をあまり取りたくないのだが。

出国窓口ではやはり「Papers, Please」を思い出す。

9時30分に出国審査通過。32番ゲートへ移動。あれ、同じ便の筈のアラジンさんや金澤夫妻がいないな…。

ま、何にせよあとは待つだけだが。

そして今回のエヴァー航空はキティジェットではないようだ。残念。しばらく待つうちに、アラジンさんや金澤夫妻と遭遇。金澤さんの奥さんとは初見。



3 時間余のフライト

10時7分に搭乗。

隣の席の人が顔見知りのマジックプレイヤーのハギワラさんで、おかげで機内でさほどの退屈もせずマジック絡みの楽しい話がありました。感謝。



機内食の昼食。味はまあまあ。お茶のためのカップに、間違えて蕎麦つゆを入れてしまう事案が発生。

30分以上出発が遅れたりした結果、14時半に台北桃園空港に到着。時差1時間なので現地では13時半です。
※以後は台湾時間で記述します。

空港で SIM カード購入にチャレンジ

入国手続きも終え荷物も受け取る。空港の無料 Wifi は普通に使えたようだが、今回の自分は空港で売っている SIM カードを買って日本通信の Wifi モデムに接続して 3 日間つながっぱで常時ネットが使えるかどうかというミッションにチャレンジ。このため金澤夫妻とも別れて SIM カード販売所へ行き、3 日間データ通信使い放題 SIM カードをまず 300 円で購入。



さっそくレジから離れ Wifi モデムに SIM を入れて起動し、iPhone を Wifi クライアントモードにするも…あれ？それらしいアクセスポイントの名前が出てこないし接続できない。画面の指示のまま台湾語の iPhone 接続アプリをインストールするも、うまくいかない。しばらく自力で試みた後に店員に聞いたが、どうもコミュニケーションがうまく取れず、店員は「Simply」と言いつつ私の Wifi モデムから買った SIM カードを抜いたうえそれを私の iPhone に挿したうえで接続を試みてエラーになったのを見て「oh、コレは使えないモデルね」と言って突っ返す。

いや**そうじゃない**。日本の iPhone が SIM ロックをかけているのは勿論知ってるが、そうじゃない。俺は iPhone は最初から Wifi クライアントとしてしか使う気はないんだよ…と思うがそれ以上の対話は諦める。もうここで 30 分くらい時間をロスしてしまったし、これから 1 時間かけて市内に入ってホテルにチェックインしてから、夕方には GP 会場に着かねばならないのだ。このためばたばたと荷物をまとめて足早に高速バス乗り場に移動してチケットを買ってバスに乗った。

バスの中でふと「もしかして、モデムの起動に結構時間がかかるだけなのではないか」と気がついて、鞆の中からモデムを取り出して SIM カードを挿して再度電源を入れて待つ。そしてしばらく待った後で iPhone の Wifi 接続画面を見たら、見覚えのある Wifi モデム

ネットワークIDがWifiリストに登場した。なあんだと思いつつ、ではあとはこのSIMのパスワードを入れれば接続できるなと思って鞆を漁るも、どうやら移動の際のドタバタでSIMのパスワードを書いた紙を**落としてしまった**らしい。なんてこったorz
ともあれ今回は接続に失敗。300 元を損したが、次回にチャレンジ。
この頃には雨もぽつぽつと降ってきたし、バスの中で気落ちすることおびたしく。

チェックインと、会場入り

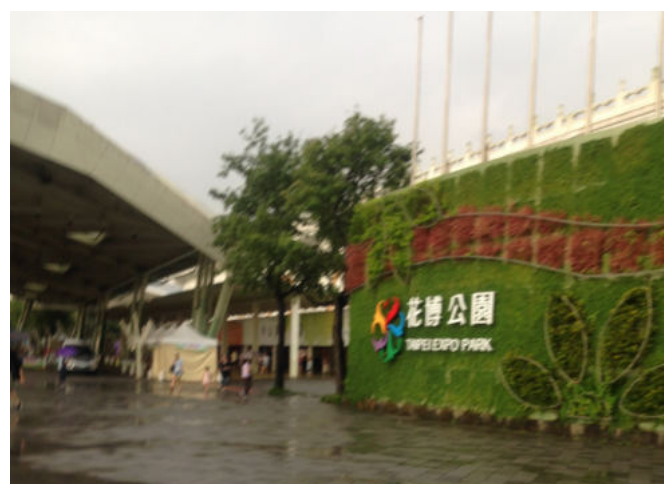
バスで台北駅（台北車站）まで1時間ほどかけ、到着。
駅を出て宿の城美大飯店まで、雨の中を傘を差して徒歩で移動。通りを1本間違えるも、基本的には周囲の地理を覚えていたのでほどなく到着してチェックイン。
当初の予定では15時にはホテル着の予定だったが、すでに16時である。

ホテルの部屋に荷物を置いて、支度をしてただちにGP会場への移動を開始する。
コンビニで「にんじんりんごカルピス」を買って飲み元気を取り戻したうえ、再度台北駅まで小雨の中を傘をさしつつ徒歩で戻り、MRTで円山（圓山）駅まで移動する。
予定より1時間以上遅れたが、果たして直前G P Tに参加はできるのだろうか…。

16時半に花博公園に到着。
さてGP会場はどこかな…と思ったが、施設の中をしばらく移動すると、やがて普通に発見できた。入ってすぐだ。

まず明日のGP本戦にエントリーする。
多分もう皆はエントリーを済ませたようであり、人はほとんど並んでいなかった。

1200 元を払ってエントリーを済ませてアヴァシンのプレイマットと殴打頭蓋のプロモをゲット。これで目的の半分は達成した。





しかし日本であれだけ他人に偉そうに
「GP 台北では中文カードを使うことになるかもしれないから英語版オラクルの代わりに M15 ファットパックの小冊子を持参すべき（キリッ）」と勧めていたのに、肝心の自分がそれを持参し忘れたことが判明（笑）。仕方ないと思いつつバイヤーブースで同じ物をもう 1 個買う。

直前 GPT シールドに参加

それでは直前 GPT シールドにエントリーしてひと遊びと思ったが、受付では「もう終了した」と言われる。まあそろそろ 17 時だし、仕方ないな。

失意のままにふらふら歩くうち、なにげにサイドイベント本部横のジャッジスペースにリッカルドが居たので話しかける。雑談がてらに「GPT にエントリーしようと思ったが、すでに終了していて残念だ」と言ったら「本当に？ ちょっとそこのジャッジと一緒に相談してみ」と言われたので、そのようにするとなぜか最終ポッド 10 へのプレイヤー追加が認められた。これが**権力の蜜の味**というものだな（笑）。

ともあれ、そのようにして直前 GPT にエントリーする。

ちなみにポッド 10 の参加者は実質 8 名（笑）。たった 3 勝できれば 2BYE である。

なお GPT はやはりの中文カードだったので、さっそく M15 ファットパック小冊子が役に立ったのでさっき買っていたのは正解…ではあった。

レアはこんな感じ（右）。アーボーグ以外は価格的に悲しみを背負ったパックだった。

とはいえリミテッドではそこそこ強いレアもあるので、デッキのほうは白黒タッチ赤で組む。

さすがに 1 没したので、デッキは記録しません。

《練達の変身術士、ジャリラ》
《変身術士の戯れ》
《解き放たれし者、オブ・ニクシリス》
《強引な採掘》
《包囲ドラゴン》
《ヨーグモスの墳墓、アーボーグ》

Round1 Lさん 黒緑 x○x

G1 黒魂が出てきて、さすがにどうにもならず負け。

G2 回って勝ち。

G3 デッキも回らなかったし、何よりも相手のアタッカーを1体見落とすとか、相手のパンプ能力を見逃していたとか、その他の酷いミスをいくつもして当然の負け。

一番酷いミス：

相手のアタックに対してブロックしたうえ《清められた突撃》を打って返り討ちにしようと試みるも、この呪文の「先制攻撃がつくのは白のみ」という能力を**完全に失念**。

おかげで一方的に勝つつもりが相打ちになり、その相打ちも相手の1/1接死ネズミとかも含んでいるため全然割に合わず、そもそも《清められた突撃》自体が完全な無駄打ちで戦線崩壊。自分のミスに気がつくまで中文カードを元に相手と「え、相打ち？」とか話していたら、見かねたGENさん（今回は非ジャッジ参加）が横から説明してくれた。恥ずい。

そしてさすがに、そのまま負けた。

プレイ中は耳を覆いたくなるほどの凄い雨音がしていたのですが、後で考えると飛行機の轟音も混じっていたかもしれません。会场上空を松山空港の飛行機が通過するのですでした。ともあれこれで、私のGP台北の金曜日は終了しました。

会場の無料 Wifi ネット

ふと iPhone の Wifi 画面を覗いたら、ネットワークリストに TPE-Free の名前を発見。

そういえば3月に TPE-Free のアカウントを取ったんだっけな…と思いつつ、試しに選択してみてしばらく待つと、やがて自動でログインして接続に成功した。取ってて良かった TPE-Free アカウント。

会場の TPE-Free は放置しておくとかと頻繁に切れてその都度再接続をする必要こそあるものの、とりあえず会場内では3日間それほど不自由なくアンテナ3本でつながったので、無料で Wifi 通信や Twitter の実況をすることができました。これは大変に良かったです。

士林夜市で夕食

直前 GPT にも負け今日やることは全部終わったので、皆で士林夜市に繰り出して夕食にすることに。19 時過ぎにアラジンさん GEN さん金澤夫妻とともに会場を後にする。

5 人なのでタクシー 2 台を使うよりは会場の目の前の円山駅から MRT に乗り、そこから北へ 2 駅の士林駅へ移動。ただしこれは失敗で、実際は士林夜市に行くなら士林駅よりも円山駅から 1 駅だけ北の剣潭駅で必要十分であった。

(ということは、晴れていたら会場から歩いてもたいした距離じゃなかったかな…)

ともあれ士林駅から南につらつら歩いてほどなく士林夜市に到着。そして見覚えのあった士林夜市の地下食堂街に降りて夕食にする。

鶏の唐揚げと蟹と野菜



2 年前とは別の店に座って、誰かの提案を基本は承認する形で、思い思いに料理を注文する。

鶏の唐揚げ！ 蟹！ 肉野菜！ パイナップルい
えび（原文ママ）！ ビーフチャーハン！ 焼き
ヌードル！ さらに例によって、アラジンさんが
別の店で注文して持ち込んだ（OK）ソーセージ！



ビーフチャーハンと焼きヌードル



パイナップルいえび

どれもうめえ。もう、幸せという言葉しか浮かんでこない。うまうま。

デザートには抹茶小豆カキ氷（右写真）とマンゴーカキ氷（この本の表紙）。

これだけ喰ってざっと1人250元。格安。やはり士林夜市のこの地下食堂は最高だ。



それから腹ごなしにつらつら歩いて、会社への土産（パイナップルケーキ）を買ったり、麻雀ビンゴをやったりする（自分は負けたがアラジンさんは何か賞品を貰っていた）。剣潭駅で金澤夫妻と別れて、アラジンさん GENさんとタクシーに乗りホテルまで移動。自分と GENさんを城美大飯店で下ろしアラジンさんはそのまま西門町の自分のホテルへ。

足裏マッサージを受けて寝る

21時、ホテルに到着。そういえば今回はノートPCを持ってこなかったのが台湾日記を夜書けないな…と思ったが、まあ仕方がない。

雨もあがったようなのでコンビニに買出し。時間もあるのでホテルの周囲をうろうろ。ホテル近くにココイチを発見。味は日本と同じなのだろうかといった興味はあるものの、わざわざ入る理由はない。

しばらくホテル周辺をうろうろした後に、足裏マッサージ屋に入る。おっさんの容赦ない痛みを伴う施術の前に平素ガチガチだった足がかなり軽くなる。これで40分500元とか安いな。毎晩行くのもありかもしれない。

ホテルに戻ってシャワーを浴びて、ファットパックの9パックを開封。んー…まあこんなもんかなあ（神話レアは黒魂のみで、あとは安めのレアばかり）。

日付が変わる頃（日本では午前1時）に就寝。

7月26日（土） GP 本戦 1 日目

7時起床。2時間後にはいよいよ GP 本戦の開始である。

このホテル「城美大飯店」は自分は二度目の利用なわけですが、今回は1人で申し込んだせいか部屋は前よりもだいぶランクが低い。狭いし窓はないし冷蔵庫もないしバスタブもなくシャワーのみ。冷房の温度の設定の仕方もよく分からない（これはフロントで聞いたけど）。まあ基本、寝るだけの部屋だからいいけど。コンビニも近いし。



とりあえずこのホテルの大きなポイントの1つである無料バイキングの朝食にする。

ちなみに並んでいる料理類は毎朝固定で、ついでに言えば2年前とも何も変わらない。

いつもの味の濃い豚の煮つけをメインに、粥と蒸しパンと紅茶で薄めて食べる。

積極的に満腹にしたい味ではないが無料なら不満はない。軽く食べてから、足りなければみちみち屋台でつまもう。

ホテルを出て徒歩で地下街に入り、台北駅まで移動する。今日は快晴。

台北の地下への入口は、屋根があるうえに入口が地面から1mくらいせり上がっている。おそらくこれは雨が地下街に流れ込まないためなんだろうけれど、上り下りは大変だ。

地下を移動して MRT で南北を走る赤い淡水線に乗り、円山駅まで移動。

台湾のエスカレーターは左を空ける関西式。



そして遅まきながら、今日と明日、台湾大学で同人誌即売会をやっていることを野上武志さんのツイートで知った。でもさすがに GP 本戦をこなしながら行くのは無理。あるいは展開次第では明日ならワンチャンだろうか。

コンビニでにんじんりんごカルピスと、ポケットティッシュを買う。

会場到着とトイレ事情



8時に会場の花博公園に到着。やはり雨よりは晴れていてくれたほうがいいな。

会場内のトイレは、男子小用は個別便器はなく簡単に仕切った壁一面に水が流れるという、メンテナンスがとても簡単そうな仕様。

そしてトイレ大の個室には紙がなかった。持ってて、良かったポケットティッシュ。



ただし実はその後「トイレ大の紙はない」のではなく「トイレ大の紙は、あらかじめ個室の外にあるロールから使うぶんだけ千切って持ちこむ」というシステムであることが判明。なあんだ。

ただしこの日のこの自分のつぶやきを読んだ GEN さん（スリープインなので、まだその時はホテルに居た）は、わざわざホテルの自室からトイレットペーパーのロールを外して会場まで持参するということをやってしまったようだった。うん、悪かった（笑）。

本戦開始前

登録プレイヤーの中に自分の名前を確認。よし。

さらにバイヤーブースで本戦用の無地スリーブを買ったついでに、運試しにくじを1回引いてみることにする。

1回150円で1等賞はモダンマスターズ1箱。

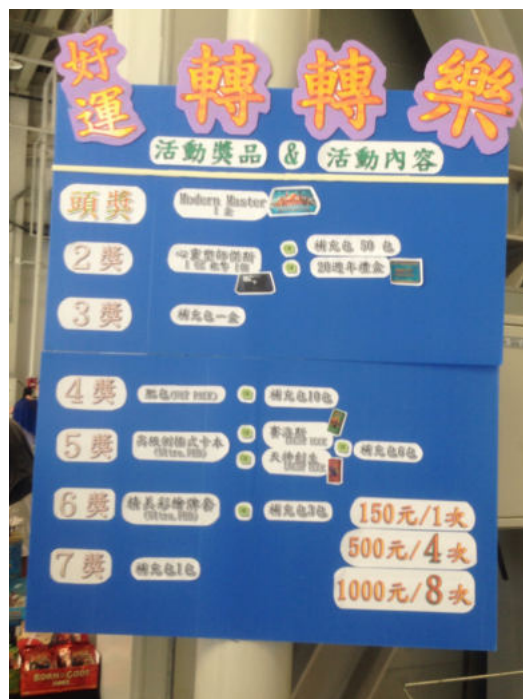
一番ハズレの7等賞はブースター1パック。

自分が引いた結果は、ブースター1パックだった。

1回150元のこのくじは4回で500円で8回で1000元だったので、ではあと試しに4回くらい回すか…と思ったのだが、自分の前に8回買って回していた人が**全部7等賞**を出したのを見て追加で回すのをやめた（笑）。

会場で朝の薬を思い出して飲む。ホテルの部屋のペットボトル水を持ってきて正解。

そしてごくごく飲む「にんじんりんごカルピス」。なぜこれを日本で売らないのか。



ジャッジステーションでは、もくもくとジャッジがスリーブイン用のパックを剥き剥きチェック中。

アーティストのサインを頼む

会場で昨日飛行機の中で話した BYE2 を持っているハギワラさんに遭う。ハギワラさんは朝からサイン会に並ぶということなので、では駄目元でいいのでついでに自分のサインもお願いしますということで手持ちのカードを渡す。まあ、GP 会場内で受け取り損ねたらそのまま日本まで持って行って貰っていずれ回収しても構わないし、最悪回収し損ねても構わない程度の安レアである。

ただしその後アラジンさんと会い、やはり BYE2 を持つアラジンさんもサイン会に並ぶということなので、一番先頭に居たハギワラさんからカードを回収し4 番目くらいに並んでいるアラジンさんに渡してサインを頼むことにした。

その後の雑談で、そういえば字だけでいいからアヴァシンのプレイマットにサインが欲しかったよねー、とアラジンさんと話すも、2 人とも昨日ゲットしたプレイマットは部屋に忘れてきたことに気がついた。残念だ。

しかしながらふと気がついてバイヤーブースに行くと、アヴァシンのプレイマットは1500 円で販売していた。約5 千円とそれほどお安くはないが、サイン入りプレイマットの魅力には抗えぬ、ということで2 枚買ってアラジンさんに1 枚渡す。まあ、余った1 枚はあとで売るなりすればいいや。少なくとも3-4 千円くらいの価値にはなるだろう。



その後、首尾よくサインを貰うことに成功。
ありがとうアラジンさん。

プレイマットは錬金術。参加費1200 元のGP の参加賞として貰えるプレイマットに1500 円の値段がただちにつくふしぎ！

もっとも、最終的には会場では1000 元くらいに値下がりしたみたいだけど（笑）。

でも日本のショップで6 千円の値がついていたから、さらに余分に1-2 枚買っていくのも手だったかもね。

GP 本戦開始

会場をうろついていると、マレーシアのオトモダチのジャッジ QJ がプレイヤー参加していたことを発見。来月も神戸で会いましょう。あと 10 月の上海でも。

そして 9:15 にシートオールが出たので、110 番に着席。

オープニングのアナウンス。本戦参加者は 852 名の 9 回戦。そして日本人は 80 名くらい居たようだ。ざっと 1 割か。

デッキリスト登録とシャッフル。今日は左に 1 回しか回さなかったなので、たまたま自分の右隣に座っていた、くどーさんのチェックしたパックだった。

まずはレアチェック（右）。大天使はまあ一応リミテッドのボムだが、やっすう…土地 2 枚を含めても千円くらいかな。悲しみを背負ったプールで構築。

《秀でた隊長》
《毅然たる大天使》
《強引な採掘》
《ゴブリンの熟練扇動者》
《戦場の鍛冶場》
《コイロスの洞窟》

Creatures: 18

《無私の聖戦士》
《エルフの神秘家》 * 2
《陽刃のエルフ》
《キンズベイルの散兵》
《オレスコス速爪》
《天麗のペガサス》 * 2
《秀でた隊長》
《ゴブリンの熟練扇動者》
《再利用の賢者》
《カミソリ足のグリフィン》
《生きているトーテム像》
《突進するサイ》
《束縛スリヴァー》
《毅然たる大天使》
《衆生の熾天使》
《包囲ワーム》

Spells: 6

《かき集める勇気》
《儚き盾》
《稲妻の一撃》
《光の柱》
《弱者狩り》
《隕石》

Lands: 17

《戦場の鍛冶場》
《平地》 * 6
《山》 * 2
《森》 * 8

Sideboard:

《真面目な捧げ物》

プールを検討の結果、今日は白緑タッチ赤にすることにした。

そして何だかんだで入ったレア 4 枚。結果的には、レアは皆、いい仕事をしてくれました。

クリーチャー 18 体でそのうち 2 マナ以下が 8 で 6 マナ以上が 4。軽さとクリーチャー数は正義。

3 点火力はメインで、解呪はサイド。そしてデッキは 41 枚。さて、どうなるかな…。

Round1 NO SHOW

さてそれではいよいよ対戦開始だ…と思ったら、自分の前に対戦相手がいない。

周囲を見渡すと、どうも同類のプレイヤーが20人くらいは居たようだ。

これはどうやらペアリングにミスがあったようで、実際に参加していない（予約したのにキャンセルした）プレイヤーに割り当てられていたらしい。

まあ、勝ちも勝ちだ。

Round1 NO SHOW

開始前のタイミングで、ジャッジがライフメモを近くのテーブルに置く。使わないが一つ取った。



時間があつたので外をぶらぶら歩く。

会場の中はキンキンに冷えているので、外のほのかな暑さはむしろ気持ち良い。

GP会場を出た目の前で青果市が立っていた。串焼き1本20元をつまむ。うむ、うまい。

ラウンド残り時間はプロジェクターで白いスクリーンに投影。いささか色が薄くて視認が大変。

いっぽう2BYEのアラジンさんは、台湾大学でやっている同人誌即売会までタクシーを飛ばしたらしいのだが、会場を取り巻く列の前にそのまま引き返してきたらしい。詳しくはたぶんアラジンさんが自分の台湾本に書くだらう（笑）。



Round3 早くも土がつく

Round2 Chenさん 青赤 ○○

G1 快勝。

G2 相手は後手を選択するも、土地が伸びなかったようで勝ち。

相手の方は、ややふとましい女性の方。自分が出した《ゴブリンのドカーン物取扱者》の能力も誤解していたので、ジャッジを呼んで説明を依頼したりする。毎回アップキープに無条件に地雷1個を出したうえで死亡判定ではなくて、こちらの攻撃時に地雷を出すと思っていたらしい。まあ、大勢には影響はなかった。

Round3 Tさん 青赤 ××

G1 こちらの土地が2枚で止まったうえで、それでもこちらはそこそこ展開できるも、相手が《小走り破滅エンジン》を出してきて完全に詰んだ。終了。

G2 こちらが1ターン目に森を置いてエルフ。2ターン目に山を置いたうえでエルフで殴らずにマナを出し《ゴブリンの熟練扇動者》をプレイするなり、向こうがジャッジを呼ぶ。「え？俺なにか間違えたか？」と思いつつジャッジへのアピールに耳を傾ける。そして誘発忘れがどうのと言うのをしばらく聞きつつ、ようやく相手が何を言っているのかを理解できた。

つまり相手は自分が「戦闘開始」こそ宣言しなかったものの《ゴブリンの熟練扇動者》をプレイしたのを第1メインフェイズだとも明確に宣言しなかったもので、これは戦闘後第2メインフェイズであり従って《ゴブリンの熟練扇動者》の戦闘開始時の誘発能力は忘れていたので誘発しないと主張していたのだった。

ああなるほど。自分はそもそも第1メインフェイズにコイツを出していれば、コイツが酔っているターンにも1匹ゴブリンが出てまだブロッカーの居ない相手に殴りに行けること自体に**気がついていなかった**ので「なるほど」と教えられた感じ（笑）。

このため相手の主張にも即座に同意。

そして以後のラウンドで、私は《ゴブリンの熟練扇動者》を出す時に必ず「第1メインフェイズ」と宣言してプレイすることに。教えてくれて本当にありがとう（笑）。

さらにその2ターン後、順調に2匹目を出しつつ《ゴブリンの熟練扇動者》も殴りに行く。ここでダメージ計算の際、自分が《ゴブリンの熟練扇動者》の能力を間違えて覚えていたため相手と食い違いが発生したため再度ジャッジコール。ここで来たのはJackpot7さんだった。ちなみに間違えていたのは「他の攻撃ゴブリンの数だけ、熟練扇動者のパワーが上がる」のを「他のゴブリンの数だけ攻撃ゴブリン全部のパワーが上がる」と思っていた点であり完全に向こうが正しい。Jackpot7さんは「いやあまあこれ間違えるよね」とかフォローしていたけど、テキストをちゃんと読めよなだけの話である（笑）。何にせよ、また教えてくれてありがとう。

ちなみにこの結果もあって、このゴブリンは討ち取られる。

あとはジャイグロの使い方をミスったりして打点を落とした後に、向こうに《小走り破滅エンジン》が出て（略）。

ともあれこれで土がついた。うん、まあ負けて当然の内容だったね。

ちなみに向こうはノースリーブのシャツに毛むくじゃらの両腕で、プレイも威圧的でちょっと~~フジケンさんみたいな~~怖い人かなあとプレイしながら思っていたのだけれど、勝ったら普通に微笑んだ。悪い人ではないと思う。

Round4 アラジンさんを踏み台にする

これで自分は勝ち勝ち負けの2-1。そしてBYE2明けで負けていたのでアラジンさんも、勝ち勝ち負けの2-1だった。

このためアラジンさんと「いやあ次は当たるかもねえ」などと冗談めかして話していたのだけどまさか**本当に当たる**とは思わなかったよ。参加者が800人以上のGPなのに。

一瞬「もしかしてコレ6-2-1で抜けられるようならここで**IDする**のもありじゃね？」とか相談するも、この時点では7-2が初日の通過ラインだとも思っていたし、そもそもが自分が初日の通過ラインを真剣に気にするほどの結果を出せるとはこの時点では思ってもいなかったもので、普通にガチで打つことにした。

Round4 アラジンさん 白緑 ○○

結果は、アラジンさんが事故っていたこともあり2回ともこちらがブン回りして粉碎。
結果的には自分がアラジンさんを踏み台にして2日目に進んだことになった（笑）。

ラウンドの合間に、市に足を運んで串揚げ（20 元）を1本ずつつまんだり、山羊の乳のアイス（30 元）をつまんだり、GP 会場内物販のパン（30 元）をつまんだりして空腹を紛らわせつつ進める。フードコートに入ってゆっくり昼飯の時間はない。

会場内の横を、時折どうみてもマジックとは何も関係なさそうな一般人も通る。

おそらくは向こうに行く際に、外よりも冷房の効いた会場内を突っ切って通ったほうが涼しいからであろう。



Round5 早くも2敗、もう後がない

Round5 Zungさん 青黒赤 ○××

G1 相手の土地が2枚で止まって、さすがに勝ち。

G2 自分が土地ばかり引いてきて大物を引かない上、相手が黒魂を出してきてそれまで相打ちしていた小物を回収して殴るパターンに入ってアド損し続けて乙。

G3 膠着した後に相手の黒魂が回り始めて乙。追放手段を引かなかったなー。

これで3-2。まあ普通に今回のGPも駄目だろうなぁと思いつつ、次に負けたらドロップして光華商場に観光に行こうということで、さらに先を進める。

GEN さんが名物の「ヒゲじいの肉弁当」を余分に
買ってきてくれたので買い取ってもりもり食べる。
よし、力出た。



Round8 もしかして初日通過？

Round6 Chenさん 白赤緑 ○×○

G1 順調に回って圧勝

G2 土地が2枚で止まって、さすがに負け

G3 順調に回って圧勝

この頃にはドロップしていたアラジンさんが、公園の画家に似顔絵を描いて貰っていた
(200 元) のを見てゲラゲラ笑う。たぶん写真はアラジンさんの本に載る。

自分も明日あたりに時間が取れるようなら1枚頼もう。ネタのために。

Round7 Kuoさん 白黒緑 ○×

G1 向こうは地上をがっちり固めて、こちらは飛行も引かずになかなか突破できずに、
やがて相手の《放浪の吟遊詩人、イーサーン》を排除できないまま毎ターン段々でかい
奴を呼んで来られるアド損が続く展開に。そして壁ドロなどでもアドも取られた結果、
やがてイーサーンによる召喚とは別に相手が《守護天使アヴァシン》を唱える。これを
突破できる見込みは全くなく軽く絶望したのだが、しかしここで「…あれ？ 向こうの
ライブラリーがだいぶ薄くね？」と気がついたので、途中からはがっちり守って相手の
ライブラリーアウトを狙う方針に切り替え。案の定、残り5枚を切った頃から向こうが
焦りだしたのを見ながら、さらにこちらは天使で20点にライフを回復。そんな中で、
向こうに《頂点捕食者、ガラク》まで降臨。うわあ。即座にガラクで一体を除去された

ものの、その返してガラクを焼いて始末して戦線崩壊を免れる。そして最後に相手のフルアタックも受け止め切って、相手のライブラリー切れで勝ち。

この時点で残りは12分。はっきり言うと、ここで私が「貪欲に初日通過を念頭に勝ちを取りに行く」ことを狙うのであれば、スロープレイを取られないようには注意しつつシャッフルとかマリガンとか判断とかを「普通速度」で行いつつ守りに徹することが、おそらくは時間切れの1-0-1でマッチを取る最善手だったと思う。でもそれつまらないよね、ということでそれはしなかった。そこまでしてもどうせ初日を通過できないだろうとも思っていたとはいえ、私も甘いね。

G2 普通にプレイを進め、というか私も露骨に急いでプレイをしている相手に合わせる形で早め早めにプレイをする（笑）。結果としては、それでもやはり延長ターンには入ったものの、それほどがっちり守ることに徹さず焦って殴りにも行ってしまった（馬鹿だろ）自分の戦線を、それなりにちゃんと展開していた相手の戦線が押し切って勝ち、延長4ターン目に向こうが私のライフをゼロにした。

これでこのマッチは1-1-0の引き分け。トータル4-2-1。

おそらく6-2-1では通過は無理だろうな—と思いつつ、しかしもう19時だし、21時までやっているらしいとはいえこれから光華商場に行ってもなあ、と思ったので、あと2回遊んでいくことにする。1勝すればPWP24点だしね。

Round8 ツジモトさん 白緑 ○○

2本とも相手の事故勝ちで取った。これで5-2-1。

ここでGP要項を改めて読む。通過条件は「800人以上ならX-2以上または上位128位以内」。ふむ。上位128位ってもしかして6-2-1で通れるのかな？とか思う。

8回戦終了時点で自分は174位だったので「どうなのかな？」とも思うも、GENさんが「この人数で19点ならば、よっぽどIDが多くない限り通過できる筈ですよ」と囁いてきたので、次に勝てばもしかして2日目に進めるのかなと少々期待しつつ進める。

ちなみにそのGENさんは「まだ19点で通過の目があったのに、先のラウンドでうっかりドロップしてしまった」のを夕食の頃までしばらく後悔していた。

Round9 GP 初日を通して

Round9 Tanさん 白黒 ○×○

細身で色黒な女性の方だった。

G1 回って勝ち。

G2 回されて負け。相手に白魂が出て投了。

G2 回って勝ち。

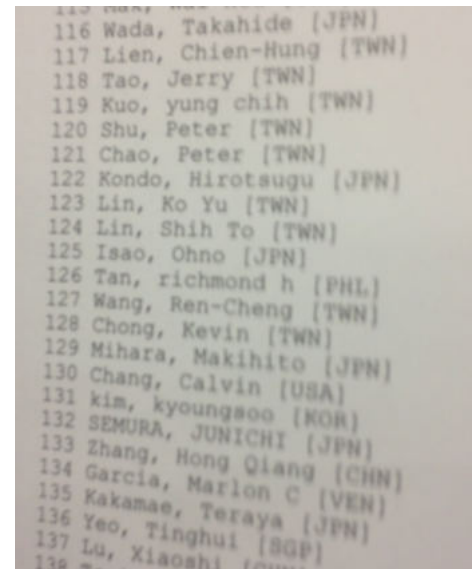
をを、勝ったぞ。これで6-2-1の19点だ。

これは通過しても僅差で落ちててもネタになるが、さて

結果は…と思って確認したら **122位で初日を通していた。**やったね。

ちなみに6-3での上位3名ほども通過していた。これは意外。必ずしも3敗したら即座にドロップというわけでもないんだね。

ともあれ人生で初のGP通過である。今夜はお祝いだ。



116	Wada, Takahide	[JPN]
117	Lien, Chien-Hung	[TWN]
118	Tao, Jerry	[TWN]
119	Kuo, yung chih	[TWN]
120	Shu, Peter	[TWN]
121	Chao, Peter	[TWN]
122	Kondo, Hirotsugu	[JPN]
123	Lin, Ko Yu	[TWN]
124	Lin, Shih To	[TWN]
125	Isao, Ohno	[JPN]
126	Tan, richmond h	[PHL]
127	Wang, Ren-Cheng	[TWN]
128	Chong, Kevin	[TWN]
129	Mihara, Makihito	[JPN]
130	Chang, Calvin	[USA]
131	kim, kyoungsoo	[KOR]
132	SEMURA, JUNICHI	[JPN]
133	Zhang, Hong Qiang	[CHN]
134	Garcia, Marlon C	[VEN]
135	Kakamae, Teraya	[JPN]
136	Yeo, Tinghui	[SGP]
137	Lu, Xiaoshi	[CHN]
138		

士林夜市で打ち上げ

GP本戦の初日通過という人生初の快挙（そして多分最後の快挙）を成し遂げた身として、たいへんにハッピーな気分であらじんさん GENさんと21時半に会場を出て、タクシーで今夜も士林夜市へ。今夜は雨ではないので、夕食はいつもの地下食堂街でなく屋台系で済ますことにした。

まずは評判との「胡椒餅」の屋台に並ぶことにした。

30個くらいをひとつの釜でいっぺんに焼くものをちょうど作り終わったタイミングだったらしく、しばらく待たされて次の30個ほどを作る工程全部を延々20分くらい見る羽目に。うん、最初は面白いと思ったけど5分で飽きた（笑）。



胡椒餅は、まあこれが 150 円なら安いよねの味。肉と野菜とスパイスがみっちり。
買った胡椒餅を腰を落ち着けて食べたいかな、と思ってふと周囲を探すと、大通りを 1 本
それたところに神社があり、その中に踏み込むと明かりもない薄暗い境内スペースがあり
石段には**カップルがぎっしり**。なるほど買い物をしながら良いムードになったら、
ここに入って**青森**雰囲気をさらに盛り上げるものなのか…と思いつつ**おっさん 3 人**で
「はいはいごめんなさいよ」とばかりに石段の一角に座ってもぐもぐ買ったものを食べる。
食べたら足早に神社を後にして、以後も思い思いにつまんで飲み食い。イカうまい。
最後はやはりいつもの地下食堂街に入り、しめにカキ氷。この店は 2 年前にも入った店だ。
マンゴーかき氷とプリンましましの練乳カキ氷を注文して 3 人で分ける。ンマーイ！



GP 初日終了

かき氷を食べ終わると 23 時。3 人でタクシーに乗ったが、
今夜のタクシーはアラジンさんの宿を先に回った。
ホテルに到着したので、シャワーを浴びて横になる。
ケーブル TV をつけたら下着の通販番組をやっていた。
パンツがこんなに伸びますよとびろーんと広げて会場の
歓声。…もう寝よう。1 時就寝。



7月27日（日） GP 本戦2日目

現地時間で6時に目が醒める。

まだ寝ていてもいいが起きてしまおう。

TVをつけたら相変わらず日曜の朝から下着のCMをやっていた。このチャンネルはこれ専門なのかな。アダルトチャンネルは無かったので100近くのケーブル番組のチャンネルの中ではここが一番エロ度が高い（笑）。



GP2 日目の朝。自分としては6-2-1で2日目に進めただけで望外な結果だが、できれば今日も楽しみたいです。それにしてもMTG関連のツイッターはタルキールの公開情報ばかりで、ていうか日本の公式はGP台北は記事にしないのかなあ。英語のカバレッジも発見できないしなあ（※1）。

※1 帰国後に発見。 <http://magic.wizards.com/en/events/coverage/gptai14>

それにしても今日は2回も無料ドラフトができるのかー。ここまで来て500円くらいのカードのマネドラでデッキを弱くする気など毛頭ないけど、高い神話レアって普通にボムだからカットの意味でもあんまり流せないよね、と思う。

そしてサイドイベント用に持参したアルペジオの嫁スリーブは今回はベンチを温めることが確定。本戦ドラフトでも6回戦あるし、本戦を終えたら確定で観光へ行くもんね。もちろんGPが最優先だけど、今夜は光華商場に行けるかなあ…。

答えは今日の夕方、あるいは夜。





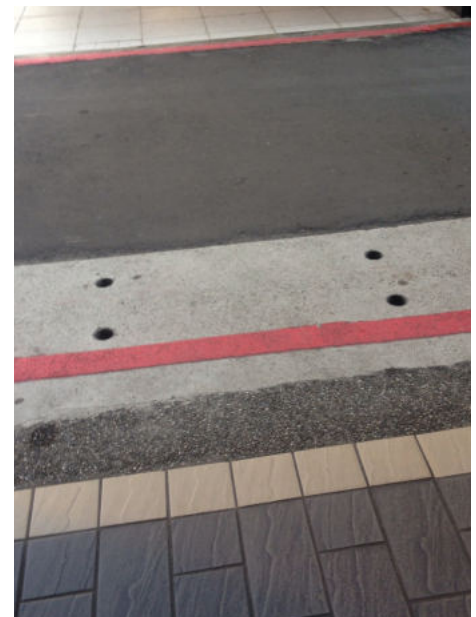
今朝も同じチョイスの無料朝食。非常に味の濃い豚肉の煮付けを蒸しパンと粥で薄めて食べる。

そして気がつくと粥の中に**ハエ**が飛び込んでお亡くなりになっていた。一瞬「うっ」と思うも、そのまま出してから粥も食べる。たぶんこれをそれほど気にするなら台湾の屋台には行けないと思う。

会場へ移動

では朝食も済ませたので会場へと移動。例によって、カメラ街の中を駅までは歩く。

徐々にバリアフリーになりつつあると思う台湾。8年前に初めて来た時は綺麗なビルでも、こういうビルとビルの間ではむき出しのコンクリートもガタガタで、転ばないように歩くの大変だったんだよなあ。



まだ地下街のエスカレーターが動いてない時間なので今日は地上から攻めてみたけど、やっぱり地下から行くのが正解かなあ。第一すでに暑い。
例によって地下鉄駅ではTPE-Freeが使える。

そして汗だくになりながら本戦1時間前の8時に会場に到着。セミの声が日本と違うな…。そして暑いなか、まだ会場の入り口が空いていないことを知るorz。



そして入り口を求めて周囲を歩くうち、ほどなく反対側に別のトイレを発見。なあんだ、こっちのほうが施設入り口のトイレよりだいぶ近いや。

それではトイレを使おう、しきたりに従って使うトイレットペーパーは、あらかじめ使うぶんだけ取ろう…と思ったらなんと紙切れ。

今日も持ってて良かったポケットティッシュ。

何気に気に入ったこのトイレの手洗いの水道。
水が放射状に出るので、手を洗う際には広範囲に水滴がはじけとぶ、ほのかにミスト感。涼しい。



会場入場

8時半、やっと会場が開いたのでそそくさと入場。エアコンの涼しさに生き返る。

バイヤーブースで本日のGP参加用の新品スリーブを買う。ドラフトは2回あるので2つ。



ついでに魔法風雲会オリジナルのチャンドラさんのプレイマットを買った。

600元なら、まあいいでしょ。

でもよく考えたらこれ「2014」って書いてあるということは1年前の売れ残りだ…この絵は今年も採用されたけど去年の新絵だし。

リッカルドとヘッドジャッジが談笑していたので話しかけ、かねての懸案について確認。本戦2日目のドラフトカードは中国語だと思うが、ルール適用度「プロ」でもファットパック付属のこの英語カードリストの小冊子をプレイ中に使って良いのだろうか？の質問。駄目もとで聞いたのだがなんと「ok」がでた。よしヘッドジャッジ裁定。これは朗報。ルール適用度プロともなると「外部情報参照」アウトに該当するかとも思ったのだけど、まあマジックはカードを暗記するゲームではないしね。

HJ 「でも、ドラフト中はダメだけどね」

俺 「分かってる、そんな時間もないよ HAHAHA」

と談笑して別れる。

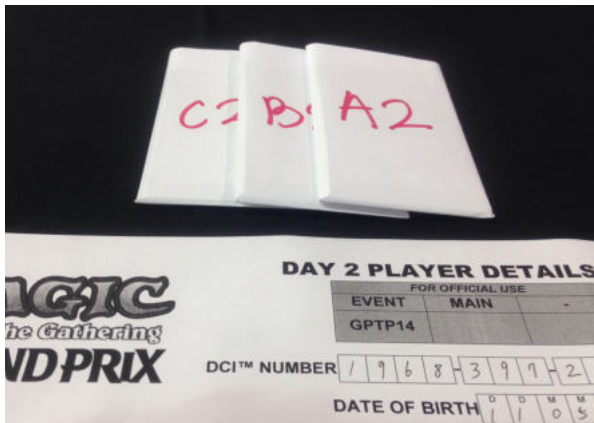
なお GP 台北では赤シャツでなく黒シャツのリッカルドという、日本で普段リッカルドを GP ヘッドジャッジとして見ている立場としては割とレアなものが見られた。

ジャッジが GP2 日目本戦ドラフト席をメイク中。
自分がここに座れることになるとはね。
なおその後で HJ が自分の方に来て教えてくれた
のだが、本戦ドラフトは英語パックであることが
判明。なあんだ。心配することなかった。



1 回目のドラフト

ねんがんのタダドラを手に入れたぞ！まあ、ここまで来ればドラフト2回を楽しみたい。
ドラフト開始。ちなみに自分のポッドは8ドラの予定が、1人が現れず7ドラになった。
欠席した人はスズキマサツナさんという日本人のようだが、昨日の自分の順位の周辺には名前がないので、もっと上位で通過した人ということか。ポッド割は上から8人ずつづつ切りにしているというわけじゃないということですね。何にせよ勿体ない話です。



1-1 《包囲ドラゴン》。まあリミテッドではフィニッシャーになるし取らない理由はない。今回は赤でスタート。

1-2 《アーティファクトの魂込め》。むむ…これはあれだな。試したかった「飛行機械が2ターン目に5/5で殴る」ドラフトデッキを組めるかな？

以後基本的に「青赤アーティファクト」を意識しつつ、飛行機械を意識的に取ったりする。

《幻影の天使》も取れた。悪くない。さらに《巨大戦車》など優秀なアーティファクトと、2周目のどうでもいいアーティファクトも意識的に取る。

《研磨時計》も1枚取れた。勝ち手段の追加。

2-1 で《主任技師》。アーキタイプのにも秒取り。《爆片破》も取れたので、悪くない展開。そんなこんなでドラフト終了。割とどうでもいいが、今回の取り切りレア（右）。

《主任技師》
《屍術士の備蓄品》
《包囲ドラゴン》
《研磨時計》
《コイロスの洞窟》

デッキはこう。狙い通りの青赤アーティファクト。これなら0-3はないのではないかな。

5/5 飛行や4/4 天使や巨大戦車を高速展開して、あとはそれを守るというコンセプト。

Creatures: 13

《羽ばたき飛行機械》 * 3
《炉の小悪魔》
《激情のゴブリン》
《主任技師》
《幻影の天使》
《立ちこめる霧の模範》
《巨大戦車》 * 2
《諸島の雨雲》
《カプショ海の飛行魚》
《包囲ドラゴン》

Spells: 10

《虚空の罌》
《アーティファクトの魂込め》 * 2
《稲妻の一撃》
《爆片破》
《研磨時計》
《ならず者の手袋》
《雲散霧消》
《硬化》
《虚空への突入》

Lands: 17

《島》 * 10
《山》 * 7

Sideboard:

《喧嘩屋の板金鎧》
《否定の法典》

Round10 Chaoさん 白青 ××

G1 後手スタート。手札にハサミがあり初ドローで飛行機械が来たので、2ターン目に飛行5/5で殴りに行きドヤ顔する。しかし輝いたのはそこまで。

2回殴った後に飛行機械がバウンスされ（まあ十分な仕事をしたよ）た後は、こちらの引きがおじいちゃんの後続や対抗手段を引かず、徐々に押しきられて負け。

G2 やはりおじいちゃんな展開で徐々に押されて負け。

向こうのデッキは2枚の《抑圧的な光線》を2枚の《ヘリオッドの巡礼者》で探してきて主力の動きを封じ、《名誉の印》なども含めて決めるというコンセプトだった。

さっそく土がついたー。

11時、GENさんから差し入れの肉まん。ありがたい。そしてGENさんから「7ドラなら0-3はないよね？」と言われる。確かに（笑）。確定的にPWP24点ゲット。

GENさんは今日は8ドラをやりまくるらしい。優勝賞品でアヴァシンのプレイマットが出ることになったらしいしね。まあ参加者800人超で、たぶん千枚作ったのだろう。

そんなこともあり昨日1500円で買ったプレイマットの値段も1000元まで下落。ぐぬぬ。

Round11 Linさん 黒赤 ○○

G1 相手が土地しか引かなくて勝ち。

G2 回って勝ち。

自分が《主任技師》が出ている状態で《巨大戦車》を土地3枚と別の「クリーチャーではない」アーティファクトをタップして呼ぼうというプレイミスをしたためジャッジコール。来たジャッジは梅様だった。

最初、自分でミスに気がついていなかったなので梅様に状況を説明…している際に、自分でミスに気がつく（笑）。「えー…ではジャッジ、裁定をお願いします」。

裁定は、プレイの時点で呼ばれたため土地も戻しての、ただの巻き戻し。

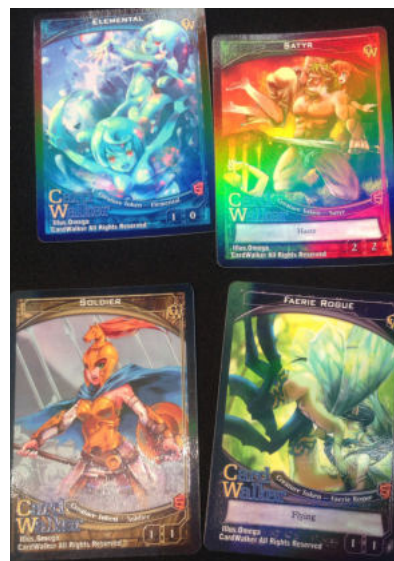
その後も比較的順調に展開できて勝てた。

Round12 Linさん 白緑 ××

向こうが良く回るわ割られまくるわで負け。

結果は1-2。正直な所、成功ドラフトだったと思うので、乗り手が強く右手が光れば3-0も狙えたデッキだと思ったのだが、いささか残念な結果。でも面白かったあ！ 気を取り直して次のドラフトへ。

GP 香港などでも売っていたエロトークン屋が新作を出していたので買った。サテュロスのイラストは多分アウト。1枚50元と結構高いので、余分に土産のために買うようなことは、今回はナシにした。



2回目のドラフト

13時半、2回目のドラフト開始。

今回も7ドラ。まあ下位卓だから仕方がない。

そしてドラフト1では来なかったスズキさんがこのポッドに。どうも聞き覚えのある名前だよなと思ったら、やはり柏木の常連のスズキさんだった（笑）。1回目のドラフトでは寝坊したらしい。あらまあもったいない。そして今度のドラフトでは、そのスズキさんに加えて、くどーさんが同じ卓になった。

7人のうち3人が日本人の知った顔。全然**アウェイ感がない**（笑）。

スズキさんは2つ上家で、くどーさんは2つ下家。協調とかどうなのかな。今度はどんなドラフトができるかなあ。

1-1《窮地の王》。まあリミテッドではボムで取らない理由はない。今回は青スタートか。
1-3で他がぱっとしなかったので何気に《羽ばたき飛行機械》を取ったら、次の1-4で
《アーティファクトの魂込め》が流れてきた。え？なに？またハサミ飛行機械やれって
言ってるの？ともあれ取る。その後、4/4天使も来る。

基本的にメインは青で決まりなので、青はどしどし取る。2色目は白か赤かを決めかねて
いたこともあって、それほど取らない。

2-1で《地割れ潜み》。はい青のボム入りましたー。心の中でガッツポーズ。青ロードも
取れたし、どしどし青を取る。この頃から青単を意識し始める。

そして青をやっている人が少なかったらしく3周目もそこそこの青をとり続けて、青単で
デッキが成立。お、悪くないじゃん。

取りレアは《窮地の王》と《地割れ潜み》のみだけど、まあどうでもいいや。

2回目のドラフトのデッキは結局こうなった。

Creatures:15

《羽ばたき飛行機械》＊2
《研究助手》＊3
《飛空士の修繕屋》
《地割れ潜み》
《幻影の天使》
《アンフィンの抜け道魔道士》＊2
《立ちこめる霧の模範》
《窮地の王》
《諸島の雨雲》＊2
《氷河の壊し屋》

Spells:9

《虚空の罨》
《アーティファクトの魂込め》
《否認》
《現実からの剥離》
《予言》
《雲散霧消》
《硬化》
《虚空への突入》
《隕石》

Lands:16

《島》＊1 3
《山》＊3

Sideboard:

《否認》（2枚目）
《島》＊3

青単アーティファクト風味。そしてまた性懲りもなく飛行機械がハサミで殴るギミックと、
4/4天使を3ターン目に出すギミックを搭載するため飛行機械を2枚。
メインに山が入っているのは《氷河の壊し屋》が殴りにいくためで、相手のデッキに山が
入っていたら島と交換する。

後で「今度もハサミ飛行機械にしたよ」と言ったらアラジンさんに酷く馬鹿にされる。

俺	「えー、でも3手目に飛行機械来たら取るでしょ。で、4手目にハサミが来たら、これはもうハサミ飛行機械をやれって上家から言われてるようなもんじゃん」
アラジン	「普通は3手目で飛行機械は取らないよ」

言えない…飛行機械は今回も3枚取ったけどさすがにサイドを含めても2枚までしか入らなかったなんて言えない…。

Round13 Yamさん 白赤 ○××

G1 相手の事故のところに、スフィンクスが出て空から殴って勝ち。

G2 こちらの土地が3枚で止まって負け。

G3 こちらの土地が3枚で止まって負け。手札が土地3枚と《予言》なのでキープしたところ、3ターン目に《予言》で引いた追加の2枚を含めても4枚目の土地を最後までとうとう引かなかったという酷い負けっぷり。さすがにこれは少々腐った。

これで6-3-1の120位。さすがにもはや賞金圏もくそもないが、まあここまで来たら、あと2回の対戦を楽しもう。確かに仮に2日目に全勝していればこの時点で17位なので、前日が122位でも決勝進出の目があるんだよなー。

だいじょーぶ。7ドラだから0-3はないぞ…ってなんか第1部と同じ展開だな（笑）。

Round14 Lienさん 青黒赤 ×○○

G1 回られて負け。

G2 回って勝ち。

G3 相手の事故に乗じてドブン勝ち。

これで7-3-1の106位。ま、あと1戦を楽しもう。

Round15 Linさん 白緑 ○○

意外にも日本人の2人と当たらなかったな…基本、ブン勝ち。さすがに青単デッキの青ロードはアホのように強かったです。

でもこちらがスフィックスで殴って、カードを置いてから High/Low を指定させたときに、毎回「Low」と答えてこちらが伏せていた4マナ以上のカードを見て頭を抱えていたのは、さすがにどうかと思う。Lowのカードはもう素で打てるマナに達しているんだから、Highのカードが手札にあればまずそっちを出しますって。

結局、ドラフト第2部は2-1で勝ち越しで終了。

さらにGP本戦の総合結果は8-3-1の90位でした。

うん、もちろん私には良すぎた結果であります。

ちなみに《地割れ潜み》は一度も手札に来ずに出ませんでした。

台湾大学の同人誌即売会土産

マレーシアのトモダチジャッジ QJ に昨日は雑談で「自分の艦むす嫁は愛宕だ」と言っていたのだが、その QJ は今朝は台湾大学の例の即売会に行ってきたらしく、自分への土産として愛宕の缶バッジをプレゼントしてくれた。持つべきものは国境を超えたオタクの友。



光華商場へ

時計を見たら 17 時半。

とりあえず GEN さんアラジンさんはまだサイドイベントを楽しんでおり（あと 2 時間にかかるようだ）、金澤さんはジャッジの仕事あがりか 19 時にはなるということなので、自分は予定通り 1 人で光華商場へ行くことにする。

これで私の GP 台北は終了ということになる。花博公園を後にする。

MRT を乗り継いで忠孝新生駅へと移動。

改札を出ようとしたらブザーが鳴る。あれ悠遊カードのチャージ切れか。そこに爺さんが近づいてきて話しかけてきたのだが、観光客相手の悪人ではといささか**警戒**しつつ手を振ってその場を離れたのち構内で自動精算機を探す。しかし見当たらない。仕方なく再度改札に戻ったら、さっきの爺さんが改札事務所内にいた。あ…制服に見えなかったが駅員さんだったのか（笑）。これは疑って悪かった。

爺さんに悠遊カードを手渡して精算のため財布を開こうとするも断られる。え？と思ってよく説明を聞くと、どうやら乗車の際のチェックがうまく機能していなかったということらしい（あるある）。マップを元に円山で乗ったことを示して、データを修正して終了。

忠孝新生駅を出てから光華商場の方向へと向かう途中、オタクな品揃えのレンタル DVD 屋を発見する。

うむ、どうやら自分は正しい方向に進んでいるようだ。

この先に何が待っているのかは分からないものの、盛り上がってまいりました。



光華商場に入る

そしてほどなく「光華國際電子廣場」という電飾を発見する。
…それほど大きくは見えないの
だが、ここなのだろうな？
ともあれ、路地に入る。



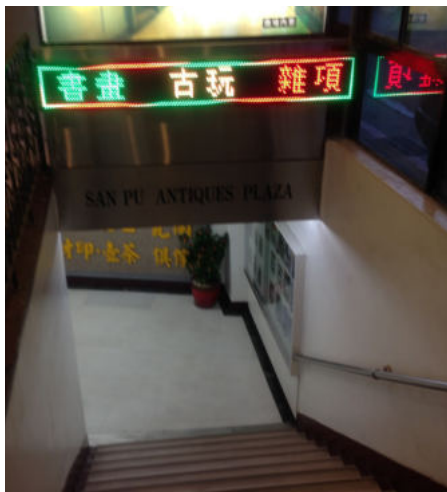
路地に入ったばかりの所に、さっそくエロ DVD 屋があったので躊躇せず入る。もちろん日本の AV に中国語の字幕をつけた海賊版ばかりである。気になるお値段は 1 枚 50 元の 11 枚 500 元。ふむ。前に士林夜市で買った際は 1 枚 200 円くらいした覚えがあるから、やはり安いかな。ともあれ観光地に来たらエロ物件には買わねばなるまい。ということでとりあえず好みのものを 11 枚選んで 500 元出して買う。

また一緒にエロトランプを 240 元。これも日本の AV 女優の写真を適当にあしらっているんだろうけど、ちくびすら出ていない下着レベルで、これならヤングアニマルのグラビアのほうがエロいですね。でもフーターストランプほど健康的な色気のシロモノでもないし、買ってどーすんだよコレ。

そしてレジでは 1 枚謎の DVD をおまけにくれた。おそらく現地の女優による無修正物だろう。



さらにブロックの奥に入ったり集合ビルの地下に入るも、どうにも閉まっている店が多い。あれー？まだ 19 時前なのになあ。
日曜日なのになあ。



さらに骨董品街らしい地下も発見したので入ってみる。
をを、これは眼福。しまっていたけどな！

さらに裏に行くとアメコミや iPhone グッズのショッ
「秋葉原」を発見する。

ここは眼鏡っ娘の店員が 1 人で店番をしていたので、
許可を貰って店内の写真も撮った。眼鏡っ娘の写真を
撮るのは断られたが。



19 時を回ったので、普通の定食屋で
牛肉麺 130 元。1 ドリンクサービス。
しかしでんと入った牛骨は骨ばかりで
あまり肉の部分が多くない…もとい、
コラーゲンで一杯だ（政治的に正しい
表現）。
…正直、ここはハズレだと思うが、
牛肉麺の属性が自分になっただけかも。



そして裏通りの奥で別のエロ DVD 屋を発見して入ったのだが、こちらではさっきの店と同じ日本製 AV の DVD が 1 枚 30 円で 13 枚で 300 元だった orz。

やはりこの手のものは入ってすぐの所は観光客相手の**ボッタくり**価格なのか。

でもいいもん！ボラれたさっきの店は、一枚謎のおまけをつけてくれたからいいもん！しかし悔しいので 30 元出してもう 1 枚だけ追加で買う。次に台北に来た時には最初からこちらの店に来よう（また来るのかよ）。

本物の光華商場を見せてやる

そうこうしながらこのブロックの開いている 10 数軒を全部探索したのだが、正直、噂の光華商場とはこの程度のものなのかなあ…と軽い失望を味わっていた。

しかしまあ仕方ない、じゃあ暗くなったし帰ろうかなと思って表通りに出たうえで車道の向かいを見ると、何やら明るい露店の光が見え、市が立っているらしいことに気がつく。じゃあついでにこっちも覗いてみようと思って通りを渡ったうえ市を抜けると、目の前に「光華商場」と書かれたピカピカのでかいビルが現れた。どうやらこっちが真の目的地だったらしい（笑）。

秋葉原に喩えるなら、私は御茶ノ水駅から坂を降り「ラジオデパート」に入ってその中をひと回りしただけで「秋葉原ってこの程度のものなのか」と思って秋葉原駅から帰ろうと思ったら、「ラジオ会館」を発見したようなものだ（笑）。

ともあれ気を取り直して光華商場の巨大なビルの中へ入った。





光華商場のビルの中は、最新の携帯電話などのピカピカの家電の小さい店がぎっしりであり、さらに時折、古書店やオタク書店も目につく。目的もなくそのまま小一時間ほどつらつら歩き書店で買い物などをするが、20時を回ってもまったく店が閉まる気配がない。さすがだ。とはいえ閉店まで粘ることもないので、20時半、そろそろ光華商場を離脱することにする。



1階にフードコートもあった。知っていたら、こちらで夕食にするのだった。



帰り道で迷う

光華商場を出たので、それでは来た道に戻って MRT 忠孝新生駅に戻るかと思ったものの、帰りの交差点でどうも道を間違えたらしいことに気がつく。

基本的には間違いに気がついた時点で引き返して光華商場まで戻るのが明らかに正解なのだが、この際だからどっかの MRT 駅にぶち当たるまで夜の散歩を楽しむか…と思いつつ

そのままつらつら歩くも、どうも段々と周囲の店も少なくなっていきコンビニすらもない寂しい通りに進んでいくばかり。これはいかん（笑）。

あるいは常時ネットに接続して現在位置や方向を確認しながら進めるのならばこのような「探検」にも意味があるかもしれないが、このへんは TPE-Free もつながらなかったもので結局はあてもなく彷徨っているだけの話である。

そろそろ歩き疲れて来たので、諦めてタクシーを拾って帰ることにする。ちなみにその住所は八徳路二段 15 号だったので、台北駅とは正反対の方向に歩いていた計算だ。

タクシーはほどなく拾えたのだが、乗った瞬間に運転手の爺さんには英語が**まったく通じない**らしいことに気がつく。もちろん日本語も通じない。これはやばいかも…と思うも、今更降りるのもなぁと思ったのでそのまま強行することにする。

仕方がないので「Taipei Station! Taipei Station! or Ximen!」と連呼したり紙に書いたりしていたら何とか理解して貰えたようで、タクシーは発進した。

しばらく大通りを走るうちに、見覚えのある台北駅が見えてきたので「よしよし方向は合っていたな」とほっとしながら思い、台北駅の横を西門方向に適当に進んだところで「ここでいいです」と伝えてタクシーを下ろして貰い料金を払う。ふう。助かった。

マッサージを受けて寝る

アイアンマンのぱちもんくさいマスコットが展示してある食べ物屋の前で降りて歩いてホテルに戻る。ふう。現在の時刻は 21 時前。皆はそろそろ夕食の頃かな。自分は光華商場をそこそこに楽しんだとは言えるが、正直なところ皆をつきあわせなくて良かった（笑）。

ではあとは、たっぷりマッサージをして貰ってからシャワーを浴びて寝よう。



ということで一昨日の近くのマッサージ店にまた行き、今度は90分999円コースを堪能。今度は足45分の首肩腰45分をオーダー。足については満足したものの正直、首肩腰は痛いばかりでイマイチだった。もう次からは足2時間コースとかでいいかなあ。帰りにコンビニでポテチとアイスとドリンクを買い込み、ホテルに戻りシャワーを浴びて、だらだらとポテチなどつまみつつネットを読む駄目人間コースを堪能してから1時就寝。

7月28日（月） 帰国日

7時に起床。状況的にはまだ寝ていても全然構わないのだが、別にそれほど眠くもないし、この際だから起きてしまおう。

とりあえず朝飯にして荷造りからスタート。そして午前の予定を決めて実施するのだ。



いつものホテル朝食。今朝は腹へりなのでトーストを追加。

このしょっぱい豚の煮付けの味が許せるのが、自分にとってのここの朝食バイキングのジャスティス。別料金なら150円まで出しても良いよ。

荷造り

部屋に戻って荷造りタイム。昨夜、光華商場で買った海賊版DVDをバッグの底に入れる。ほどなく荷造り完了。無理やり詰め込めば行きと同じくバッグとリュックだけで済みそうなのだが、エバー航空の荷物制限は何個までだったかな。

今回の荷物の失敗は、暑いのを警戒してタオルの持って来すぎ。さすがに一日2枚の合計8枚は多過ぎた。確かにそのくらいは使いたくなるんだけど、夜にホテルの部屋で干していればだいたいその半分で済む。

荷造りを終わると9時。では近場の買い物タイムとするか…とも思うも、女房への土産の購入を兼ねてガイドブックをぱらぱらする限りでは、やはり10時前にはほとんどの店は開いていないようなので、あと20分くらいはガイドブックを読んで台北駅方面に散策に出て、正午までにホテルに戻ってチェックアウトしてバスで空港に移動して14時50分台北発でよさげ。よし今日の行動のイメージができた。
財布の中には5千元。たぶん足りるだろう。ではホテルを出よう。

台北駅地下街へ

9時半にホテルを出て台北駅方面へてくてく歩く。いい天気だ。

市内のあちこちにたくさん見られる「宝くじ」の店に入って持参したレシートの宝くじを見せるも「ここではない」と手を振って断られる。やはり事前情報の通り、公営宝くじの換金には郵便局に行かねばならないようだ。郵便局ってどこだ。

引き続き台北駅の方向へと歩くも、あまりの暑さに耐えられなくなってきたうえ、三越の10時開店までは時間があるので、根を上げて冷房を期待して台北駅の地下街に入る。

台北駅の地下街はTPE-Freeが普通に使えたので、ネットにもただちにつながった。

それと同時に女房からツイッターにDMが。
どうやら先ほど、自宅に勝手に電話をかけて

いたらしい。むむむ。また胸ポケットに入ってるiPhoneの電話アイコンを勝手に押してしまっていたか。電話機能だけオフにできる設定はないのだろうか…と一瞬考えてから、



ダッシュボードから電話アイコンを取り除き普段アクセスしていないページに移動すればいいことに気がついたので即座に実施。もともと勝手に胸ポケットのボタンを押して無言電話をかけたことが過去何度かあった（その節はご迷惑をおかけしました）ので、今後もずっとこうすることにする。もとより自分は電話をかける頻度は多くない。

通話履歴を見る限り日本に長時間電話をかけていた形跡はないので大丈夫そうだったが、来月請求書で目をむく羽目にならなければならないと思うのだからどうかな。もちろんデータ通信は常にオフにして Wifi のみで使って居るのだが。（追伸：セーフでした）

薬屋で買い物

薬屋が空いていたので、プチ土産用の歯磨きとタイガーバームを購入。

何やら「父の日」のキャンペーンをやっていたようだが、どうみてもイヌカレー空間です本当にありがとうございました。※この本の表 4

地下街ミストで涼む

汗をふきふきミストに入って、マンゴースムージー 80 元を注文。生き返る。

さらにマンゴースムージーを頼んだ後でスムージー類は「同じものを 2 つ買うと半額」と店内に書いてあったことに気がつく。とてもリア充な仕様だが、デブとしては注文前にこれに気がついていたら

同じ金額で同じものを**自分用に 2 つ**

頼んでいた可能性も高いよな（笑）。

いっそ暑いし喉はかわいているし、そうすればよかった。



本日のミッションとして「郵便局での公営宝くじ換金」というのがまだ残っていたので、TPE-Freeに繋がったのを幸い、スムージーを食べながら郵便局を検索。ほどなく「台北北門郵局」がヒット。地図を見る限り、いま来た道を西門方面に引き返すことになるが、どうせ戻る必要のあるホテルにも遠くないようだし、これは行くか。ネタのために。

郵便局で宝くじを換金

ミスドを出てから地下街を西へ。地下街マップを参照すると、どうやら地下街の終点までひたすら西に行くことで郵便局のすぐ近くまで地上に出ずに行けそう。この暑い中で外を歩かなくて済むのは非常に助かる。そして地上に出ると目の前に郵便局の表示があった。

ここから入るのかなーと思って中に入ろうとすると、どうやらここは車両出口らしく警備員のおっちゃんに「あっちあっち」と指でジェスチャーされる。



指示に従いさらに西に進んで建物角を曲がると郵便局の正面入口があった。

すいていた郵便局に入り、窓口のおばちゃんにレシートを見せる。

おばちゃんは目の前の端末をちら、と見て番号を確認してから、レシートの裏に必要事項を書けと言ってきた。

これで合ってるのかな…と思いつつ、枠内にパスポート番号、氏名、サイン、

住所をいつものように記入。

氏名を英語サインを日本語で書いたら「一緒に合わせろ」と言われたので、サインの横に英語で記入したら、ごく普通に受理された。よっしゃ **200 元ゲット**したぜ！

ホテルに戻る

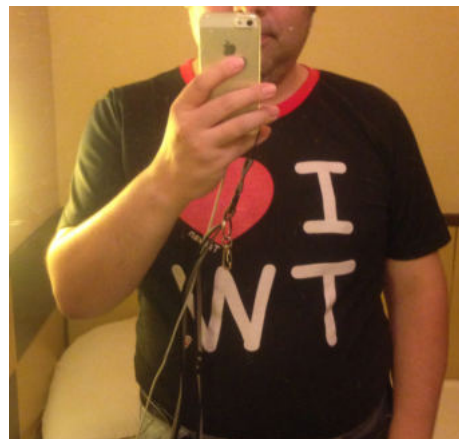
宝くじ換金ミッションも終え特に別の予定もなくここまで戻ってしまったことであるので、もうホテルに戻ることにする。11 時前にホテルに到着。ホテルと郵便局は存外近かった。青い鳥はすぐ近くにいたんだな。

そして今回のクエストのもう一つの収穫は、台北駅とこのホテルを結ぶ、なるべく地下を歩くコースが開拓できたことだった。自分は今後もこの安ホテルは利用するつもりだし、雨や暑さで、なるべく外は歩きたくないことも多いのだ。

つまり台北駅からは Z10 出口まで地下街を移動したうえで地上に上る。ちいおぼえた。

外がこんなに暑いと知っていたら、1 時間半前にこの部屋を出る時に冷房をキンキンにしておくのだったなあと後悔するも、もう遅い。

タイムリミットまであと 1 時間あるが、もうチェックアウトして空港に向かって良いだろう。ということでシャワーを浴びたうえで、士林夜市で買った新しい



「I ラブ TW」 の T シャツに着替える。観光客であることを隠さないのが自分のジャスティス（笑）。サンダルを脱いで 3 日ぶりに靴下を履いて靴を履く。これでもう支度は終わりだ。ホテルを出よう。

桃園空港行きの高速バスに乗る

11 時 20 分、チェックアウト。次は空港までの高速バスに乗るクエストだ。

台北駅から空港への高速バスは過去に 2 回利用したのだが、2 回とも台北駅に入ってから「Bus」の案内をもとに構内を移動したら小 1 時間くらいビルのあちこちを引き回されたあげく、しかもその案内は空港行きでなく「駅から市内各所」に出るためのバス停留所の案内だったという苦い失敗をしているのだ。せめて同じ失敗を 2 回するなよ俺（笑）。このため今度こそ高速バス乗り場への最短ルートを探そうと強く決意してホテルを出る。

…そして今回、台北駅周辺の地理をよく調べて判明したのは、ホテルから台北駅に向かう途中の駅の西側に目的の「高速バス乗り場」があったという事実だった（笑）。

まず台北駅に入ってからバス乗り場を探したのがこれまでの敗因。何という無駄なことをしてしまっていたのだ。そしてますます上がったこのホテル立地への評価。

高速バス乗り場の総合窓口で「Bus to Airport?」と聞いたら簡単に窓口を教えて貰い、240 元払ってチケットを買い何ごともなく 11:36 発のバスに乗車。簡単に拍子抜け。

桃園空港で昼食

12:30 に桃園空港に到着。離陸までは 2 時間超はあるが、まあ昼飯と土産買いくらいしかすることがない。

とりあえずは昼飯にしよう。空港の長いエスカレーターで地下のフードコートへ移動する。フードコートを一周してからどこにするかなーとしばし考えた末に、



普通の肉野菜炒め定食セットを注文。空港めしで 149 元ならばまあ良いのではないかな。味は普通だが量が割とある。飲み物ともう一品つく 250 元セットにしなくて良かった。しかし食べている途中で、向かいに座ったお姐ちゃんが注文していた火鍋ぐつぐつが結構おいしそうに見えて困った（笑）。次回は頼んでみよう。



ドリンクを注文しなかったのも、ホテルの部屋から持ってきたペットボトル水がお役立ち。そして付け合わせの小皿の菜類も含めて完食。よし。ではお腹が落ち着いたら出よう。すでに離陸 2 時間を切った。早すぎるということはない。

荷物を預けて出国手続き

再び長いエスカレーターで 3 階まで上り、エヴァー航空のエコノミー窓口に並ぶ。手荷物は 3 個まで無料。一応 3 個全部を手荷物にできないかを誰何するも、重量を測ってアウト。まあ仕方がない。緑のいつものバッグを機内預かりにしたうえで、手提げとリュックを機内持ち込みにする。

当初は手提げは預ける予定でもあったことから、もう 1 本のペットボトル水もホテルから持ってきていたのだが、これは未開封で破棄する羽目になった。残念だ。またいつもの「にんじんりんごカルピス」を持ち帰るために買うのを忘れたことにこの時点で気がつく。

では出国手続きだ。チケットを貰ってからセキュリティを通過。ペットボトルを自主的に破棄した以外は問題なく出国審査も何事もなく通過。あと 1 時間くらいで搭乗。

免税店で買い物

いよいよ最後のクエストだ。女房から頼まれていた「免税店での化粧品の購入」である。まずは女房が DropBox に入れていた買い物メモを開く。この“CLINIQUE”…というのはどうやらブランド名のことらしい。ほどなくその単語のコーナーがある店を発見。女房のメモにはさらに「リキッドフェーシャルソープ」「クラリファイングローション2」「スーパーブレンデッドフェースパウダー」「イーブンベターメイクアップ」などの謎の単語が並ぶ。カタログをしばらく見たり店員に聞いたりして、どうやらこれらは1番2番3番と番号順に使っていくものらしい（ソープ→化粧水→乳液）。

げえっ。化粧品1本じゃなくてリストにある奴を番号順に**全部買え**ってことなのか。

このことに気がついてからは、女房のリストを精査しつつ、容量も含めて指定のものと同じであることを1個ずつ確認しながら、どうやら全部を揃える。ただし正確に言えばファンデーションだけは同じ番号のSPFのものが品切れだったので、一番近い番号の奴にした。

トータルで3500円ほどになった。うげえっ！と思うも、そのリストに女房が「参考価格」と併記していた日本での値段を見たら、どう見ても合計2万円を軽く超えていた。うひゃあ、化粧品って高いなあ…と思いつつ「じゃあまあこの値段でもいいのか」と思ってそのまま買う。女は金がかかるものじゃのう…しかし、うちの女房になどこんな金をかけても（検閲済）。

ともあれ最後のミッションを無事コンプリート。



搭乗

あとは搭乗するだけ。残念ながら今回もキティジェットではなかった。

搭乗のため通過する必要のあるゲートはこんなにキティ尽くしなのに！なのに！

ロビーに同じ便のアラジンさんが居たが、自分が到着して写真を撮って回っているうちに搭乗時刻になったため、ほとんど会話はできなかった。別にいいけど。



そして自分も搭乗し、ほどなく離陸。席はエコノミークラスの前から2番目。を、これは降りるのが早くて良さそう。しかも今回の便は満席ではなく、1番前の6席が全部空席。



このため16時の機内食を平らげた後トイレから戻ったタイミングで、CAに最前列を示されて「こっちに座ってもいいですよ」と言われたため、お言葉に甘えて席を前に移動する。

このため3人席をひろびろ占有。もっとも、このエコノミーの1番前の席は手すりを上げられないので座席も広くできず、それほどメリットはない。ま、手荷物を横の席に置けたのだけはメリット。

目の前がビジネスクラスなので、これはどうやらエコノミーの客の中では一番早く降りられそうだ。よいかなよいかな。

帰国に備えて時計を日本時間に戻す（以後は日本時間で表記します）。

現在日本時間で18時。あと1時間ほどで到着の筈だが、外はまだ明るい。

帰国

19時半に、何ごともなく成田空港に着陸。光の速さで何ごともなく入国を終え、荷物もほどなく受け取る。

ただし税関申告カードを機内で書いていなかったことに気がついたので、あわてて書いて税関通過。機内で申告カードを配る際「必要な方はどうぞ」みたいな言い方をされたので、書くための時間はもちろんあったけど書き忘れていた。「入国の際にはトランジット組以外は全員提出してくれ」と言われていたら普通に書いたのに（もっとも海外旅行が何度目だお前は、という話ではある）。



飛行機が降下した頃からの頭痛が微妙に取れないが、まあ今夜寝れば治るだろう。

ともあれ 20 時には JR 成田空港駅のホームに到着。

20 時 8 分発の快速に乗り、21 時 18 分に新小岩着。

さすがにタクシーを拾って、ただちに帰宅。

おうちに帰るまでが GP で、これで私の GP 台北も終了しました。

完

買い物に立ち寄った薬屋での「父の日」ディスプレイ。
どう見てもイヌカレー空間です本当にありがとうございました。



GP 台北 2014 参加記 (v1.01)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2014年10月10日 v1.00は2014年10月1日発行です

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（近藤博次）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）